

# 設立45周年、宇宙ビジネスの可能性に自信

## 23年2月期売上高11億円を目指す オガワ機工株

オーダーメイド型自動省力機器・搬送設備製造のオガワ機工株（久留米市宮ノ陣町、伊藤秀典社長）が今年5月に設立45周年を迎えた。コロナ禍の影響で受注先の見直し相次ぎ、昨年は厳しい決算となったが、今期から3カ年中期経営計画を策定。新たな自社一貫の生産体制と宇宙産業ビジネスの本格参入で経営成長戦略に弾みをつけようとする伊藤社長に今後の展開について聞いた。（取材／松岡泰成）

―設立45周年を振り返って。長と弟・伊藤慎二副社長との親  
**伊藤** 当社は創業者の父（伊子・兄弟一対の経営体制が確立藤博介会長）が1969年、久留米市善導寺町に小川製作所（現小川コンベヤ株）九州出張所を開設し、76年5月に同社から出張所の資産と市場を買取って独立。現地法人化したことに始まります。設立当時は従業員3人だったのが、善導寺の事務所と工場の新設、97年5月には宮ノ陣新産業団地内へ本社屋・工場の新築移転などを経て成長し、現在はスタッフ約30人まで増えたことに感慨深いものがあります。

私が経営に参画したのは98年ですから、それ以降、伊藤会

―社員就任されたのが6年前でしたね。

**伊藤** そうです。入社前はコンベヤメーカーで3年間さまざまな経験と知識を学ばせていただきました。そのノウハウを持ち帰って社内組織体制に生かそうと。例えば、各部署間の情報共有や設計・図面工程などデータ管理に基づく社内工程表の重要性を指摘し、今後それをどう効率の良いものに改善していくのかを検証。必要な場合は積極的に取り入れました。約1

0年前に導入した3次元CADや2019年から随時、一人1台タブレット（アイパッド）配布もその一環で、こうした取り組みは当時業界でも早かったと思います。

―今年5月にはHPで搬送装置PR動画を配信されました。

**伊藤** これも販売促進ツールとして実施するものです。今回受注いただいた案件の中には、当社HPの問い合わせ欄に突然、新規受注依頼の連絡が入ったケースもあり、危うく見逃すところでした（笑）。今後、そうしたニーズに対応して汎用性搬送装置（段積み機、段バラシ機）の概要動画を配信すること



宮ノ陣新産業団地内にある本社事務所、工場

―技術開発グループとは何ですか。

**伊藤** ロボティクスとAI、IOTを活用した次世代向けシステムや新技術を研究する部署と考えています。

### コロナ禍が成長戦略転換の起点に

**伊藤** 現在、設計課が6人、製造工事課の機械系が8人、電気系が2人の計16人体制で製造部門を回しています。また、購買が3人、営業2人、総務3人となっています。また、昨年4月に新設した「技術開発グループ」のスタッフが1人所属しています。

―経営環境について、コロナ禍の影響はありましたか。

**伊藤** 昨年度は非常に厳しかったですね。それまではブリヂストンさんを始め、24社の主要取引先と132社の納品先を有するなど年々順調に推移していましたが、コロナの影響で多くの企業が事業計画の見直しを迫られ、それはブリヂストンさんも例外ではありません。事業見直しの連絡は事前にいた

―役員の仕事について。

**伊藤** 会長は創業当時からお世話になっている（株）リョーユーパンさまとの窓口を引き続き担ってほしい、私は多大なご尽力をいただいた（株）ブリヂストンさま、他の取引先やクライアントとの営業業務を担当。副社長は設計・製造、資材管理、購買などの現場統括と地元企業さんとのパイプ役を担っています。当社のキャッチフレーズ「便利をつくる。ひとつから考える」

―役員の仕事について。

―役員の仕事について。

―役員の仕事について。



伊藤 秀典 社長

久留米市出身、1972年6月16日生まれの49歳。創業者伊藤博介会長の長男。久留米高専機械工学科～豊橋技術科学大学エネルギー工学課程卒。卒業後オクラ輸送機株に勤務。1998年5月にオガワ機工株に入社し、2015年5月から社長





昨年12月から2カ月間、福岡市科学館で行われた人工星の展示会に参加。前列左が伊藤副社長

で興味をもっていただければと考えています。

— 新型コロナウイルス対策も重要ですね。

**伊藤** 当社はコロナ禍が表面化する前から書類の電子化や製作面のデータ管理・共有化を図ってまいりましたので、昨年4月最初の緊急事態宣言が発令され、リモートワークに移行した時もスムーズに対応できました。コロナを予測していたわけではなかったのですが、結果的にデジタルトランスフォーメーションの導入が功を奏し、さまざまな場面でオンライン化を促進できました。特に、ビジネス

チャットを利用したタスク管理や取引先・顧客とのオンラインミーティング、社内でも部署間

のウェブミーティングが活発化。作業効率も向上しており、良い成果が出ています。

## 宇宙産業ビジネスを主要分野に位置付け

— 宇宙産業ビジネスへの参画も企業成長の大きな柱となりそうですね。

ダー衛星の開発・運用は世界でも数社しか達成できていないんです。e-SETTに加盟した当時はこんなに早く結果が出るとは思いませんでした。QPS

**伊藤** 筑後地区の中小製造メーカーを中心に小型人工衛星の開発に挑戦するグループ「e-SETT（円陣スペースエンジン・ニアリングチーム）」（加盟企業11社）に参画し、今年8月で10周年を迎えます。2017年10月から九州・福岡発の宇宙ベンチャー「株QPS研究所」（福岡市、大西俊輔社長）さんが取り組む小型SAR（合成開口レーダー）衛星開発にも携わらせていただき、構造全体やアンテナ展開などの宇宙空間での機械的な動作部分の設計・組立を担当。19年12月に1号機「イザナギ」、今年1月には2号機「イザナミ」が続けて打ち上げ成功した時の興奮は今も鮮明に覚えています。

以降、急激に進展しました。今や、当社にとって宇宙産業は将来の企業成長を担う主要分野の1つとして大きな期待を寄せています。

— スケールが大きい市場になりますね。

**伊藤** QPS研究所さんから設計・組立担当としてご信頼をいただいていることが大きな自信となっています。このプロジェクトは2025年までに計36機の小型SAR衛星を打ち上げて地球のほぼ全体をカバーし、夜間や悪天候でも地表を観測できる最新データを平均10分ごとに更新することを目指しています。ご縁をいただいたこ

とに感謝し、我々も品質と精度向上に努めていきます。

— 今後の事業展開について。

**伊藤** 当社の強みである搬送システムの設計・施工・製造、アフターサービスを自社一貫体制で行い、各部門が連携・協調し工期短縮の実現を目指す生産体制「コンカレットエンジニアリング」を徹底し、差別化を図ります。今年度から3カ年中期経営計画を策定しており、今期は売上高7億円までの回復を目指し、2023年度には1億円を目標にしています。

### オガワ機工(株)

【本社】	〒839-0804 久留米市宮ノ陣町若松1-20			
【TEL】	0942-31-1378	【FAX】	0942-31-1380	
【設立】	1976(昭和51)年5月	【創業】	1976(昭和51)年5月	
【資本金】	2,000万円			
【銀行】	福岡善導寺 北九州久留米 他			
【役員】	(会)伊藤博介 (社)伊藤秀典 (副)伊藤慎二			
【事業】	コンペヤ・省力機器の製造			
【仕入先】	ユアサ商事 日本機材 ダイドー オークラ輸送機 他			
【販売先】	ブリヂストン プリヂストンプラントエンジニアリング 椿本興業			
【取扱構成】	オカムラ 他			
【出先】	コンペヤ30% 省力機器50% 他20%			
	(工場)本社同所			
【業績】	売上高(千円)	経常利益(千円)	配当(%)	従業員
2018年2月	913,000	31,339	-	25
2019年2月	1,001,000	28,454	-	26
2020年2月	1,060,000	49,640	-	28
2021年2月	452,911	△89,529	-	29

※ 弊誌別冊「福岡の会社情報」データベースより